

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立高等学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立中津高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年11月10日(木) 14:00~16:00
- 3 開催場所 岐阜県立中津高等学校 大会議室
- 4 参加者

会長	田島 雅子	中津川市教育委員
副会長	糸魚川謙一	元全日制PTA会長
委員	楯 明夫	中津川市第二中学校校長
	西尾 晃司	元定時制同窓会長
	深津 広樹	中津川市役所 定住推進部 市民協働課 次長兼課長 (書面参加)
	吉村 知央	全日制PTA副会長
	松下 嘉広	一般社団法人ヒガシミノ団地代表理事
	水野 賢一	同窓会長・中津川市議会議員(書面参加)
	宮良 淳子	中京学院大学教授(書面参加)
	吉村あづさ	図書館ボランティア養成コーディネーター
学校側	市川 浩通	校長
	岩島 章雄	副校長
	磯部 典之	事務部長
	渡邊 卓哉	教頭

5 会議の概要(協議事項)

授業見学実施

(1) 学校評価アンケート(全日制)について

意見1:生徒アンケートB2「本校は、歴史と伝統があり、社会で活躍する卒業生が多いことを誇りに思う。」について、昨年度より下降している。探究学習の講師の選択や頻度に課題があるのではないか。

⇒「誇りに思う」という回答が7ポイント下がっている。今年は「わからない」という回答が大幅に増えていることも影響していると考えられる。その一方で、母校を誇りに思う気持ちが減っているのではないかということについて、授業参観の折に指摘された委員もおられる。創立120周年を見据えて、さまざまな機会を捉えて啓発を図りたい。来年度から組織を立ち上げて活動する。

意見2:特進クラスについて、外部への発信が弱い点が見られる。SNSを使うなどして、外部に対して積極的に発信すべきである。一過性でなく継続性のある発信をされたい。少子化の中

で、せっかくのいい制度が蔵に収まってしまうのは残念である。特進クラスの実績なども積極的に発信すべきである。

⇒校長が中学校を訪問するなど、積極的に発信を図っているが、今後さらに発信力を強め、周知を図りたい。

(2) 学校評価アンケート（定時制）について

意見1：「わからない」という回答が多くなっているのは、「本校では、ボランティア活動の大切さを教えると同時に、その機会を提供している。」という項目である。定時制は夜間に授業をするので難しいかもしれないが、社会とのつながりやボランティアを意識した指導が大切と考える。ボランティア自体の解釈が「無償で何かをする」ということであれば、それは非常に残念なことで、大好きなことをやって、自分の時間を使うことがボランティアだと思う。それが好きなことを見つけることにつながる。そして居場所を見つけることにつながる。積極的にそのような生徒を育てていただきたい。

⇒「大人との関わり」「横のつながりだけでなく縦のつながり」を重視する指導として、インターンシップの指導を強化している。現在生徒がアルバイトをしている事業所以外の、違う環境での学びを、来年度以降も拡充する。

(3) スクール・ポリシーについて

今回の学校運営協議会において、来年度のスクール・ポリシー策定にあたってのご意見を伺う。

(4) 県立高校体育施設開放について

現在の取組状況を説明し、委員の理解を得た。

(5) その他

ア 学校評価アンケートにおいて、「わからない」という回答が昨年度より大幅に増えたことについて。

意見1：アンケートで大切なのは、短文であること。スマホで一目で見きれないと、見る気がしなくなる。企業用のアンケートでは文を短くしている。

意見2：他校でも同じように実施しているものであり、他校の情報を集めることが必要である。

意見3：「わからない」と回答するその理由を書く欄を設ける。「わからない」ことも実は大事であり、答えにくいところもある。会社では「どちらでもない」という選択肢を作っている。

意見4：4月当初に、今後このようなアンケートが実施されると予告し、関心を持っていただけるとうれしいという内容をあらかじめ周知しておくとうい。

⇒定時制では去年も forms で実施しているが、「わからない」という回答は、今年になって大きく増えた。他の何か違ったバイアスがかかっている可能性もある。「わからない」ということがわかったことも非常に大事。我々の努力が足りないと感じ止めて、今後理解を求めていくことが必要であると考え。

イ 制服について。

意見1：女子のスラックスは現在の流れであり、やってもいい。制服全体のデザインは、私た

ちでなく、着る方の生徒の感性を重視すべきである。

⇒現状でスラックスをはいている生徒はいる。着こなしがよい。服装の乱れはない。

意見2：親の立場から考えると、私服はお金がかかるので困る。

⇒（県内他校における制服に関する取組の状況の説明）

ウ その他

意見1：地区内の他の高校では、地域と直結する行事が行われ、報道されている。「地域の中の中津高校」の在り方を考えたいと思う。中津高校の立場も地域に植え付けたい。中津川にある中津高校を誇りに思いたい。

意見2：学校ホームページで、探究活動の紹介が去年の2月から途切れている。もっと地域と関わりをもつということについて、整理をする必要がある。

⇒本校では現在、進学に関する指導が多く行われている。その一方で、ボランティア活動や、教員志望の生徒が小中学校へ行って活動したりしている。発信の仕方に工夫をしたい。働き方改革等の課題もあるが、できる努力を積極的に進めたい。

6 会議のまとめ

- ・第二回学校運営協議会では、それぞれの協議事項について、全委員より承認が得られた。授業参観をした際「生徒も教師もとても雰囲気がよく充実していた」などの意見が得られた。
- ・第三回学校運営協議会の開催は、2月9日（木）に予定している。